

令和6年度 学校評価報告書

学校番号(小11) 長崎市立(小島小)学校

1 教育目標

夢をもち、ふるさとを愛し、自ら未来を切り開く児童の育成 「か が や く え が お」 ～人とつながり一歩前へ「もっと地域と もっと地域へ」～

2 学校経営方針

関係法令、学習指導要領及び県・市の教育方針に則り、第4次長崎市教育振興基本計画に基づき、本校の実態に即した教育活動を推進し、教職員、保護者、地域、関係機関が一体となり、子ども一人一人が生き生きと輝き、笑顔あふれる、信頼と活力のある学校を目指す。教職員自らが進取果敢に研修に励み、指導力の向上に努め、「自立・共生・創造」をキーワードとして組織的な学校経営を進めることにより、ふるさと小島を愛する心を育むと共に、より
--

3 重点目標

G1-1	「確かな学力の向上」を図ります ①身に付けるべき資質能力の育成 ②学びの意義を実感する学習活動の設定 ③校内研究の充実と一般化 ③GIGAスクール構想の効果的な取組 ④家庭学習の習慣化と充実 ⑤読書活動の推進
G1-2	健やかな心と体を育成します ①『本物』の挨拶と返事、無言清掃、はき物並べ ②「いじめ」を絶対に許さない人権意識の向上 ③積極的で徹底した生徒指導 ④特別支援教育の推進と充実 ⑤体育部、特別活動部を中心とした体力向上プランの取組
G1-3	学校・家庭・地域の連携による教育の充実を図ります ①地域の貴重な教育資源を生かした取組 ②家庭・地域との情報共有、連携・協働 ③地域の一員としての自覚を高め、地域課題に向き合う取組 ④幼保小連携、小中高連携、地域諸団体との連携、専門機関・行政の活用
G1-4	安全・安心に学べる教育環境を整備します ①早寝早起き、朝ごはんの徹底「遅刻0 朝ごはん100」 ②運動、遊びの機会を保障 ③安全、清潔、整然とした環境づくり ④「子どもの危険」を絶対に見逃さない その他①人権感覚を磨き、一人一人を尊重し、大切に学校をつくりましょう ②一人一人がリーダーシップを発揮し、互いに磨きあう「TEAM小島」をつくりましょう ③意識を揃え、常に組織的な対応を心掛け、「徹底・継続」しましょう ④働きやすく、働き甲斐のある楽しい職場環境をつくりましょ う

4 自己評価

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果 (肯定的割合・%)			分析及び改善策
			児 童	保護者	教職員	
学校経営	教 育 目 標	教育目標を達成している	95	93	100	教育目標については保護者、児童ともに高い評価となっている。朝のボランティア活動が浸透し、学校全体に活気があふれ楽しい雰囲気になっている。社会問題にもなっている教職員の業務改善も着実に進んでいる。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	96	96	100	
	組 織 運 営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			77	
	業 務 の 改 善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			95	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	90	89	77	仮設校舎での学校生活が2年目になり、ルールや決まりが定着してきた。「心の教育」の数値に関しては、約8割が昨年度を上回り教育の充実が図られていることを意味している。児童の悩みや相談に対しては、生活アンケートや面談等を実施しており、日頃から児童と向き合う時間の確保を行ってきた。「あ・は・は運動」の周知については、今後も引き続き行っていく必要がある。
		挨拶をよくしている	93	91	86	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	67	80	64	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	75	92	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	83	85	100	
	人 権 教 育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	96	92	100	
	平 和 教 育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	87	89	91	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	94	91	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	92	96	100	確かな学力の向上の定着については、校内研修の日常化を図り、児童の意欲を喚起する授業実践に取り組んできた。しかし、家庭学習の定着については、2極化の傾向が見られる。クロムブック等を活用した家庭学習を通して、児童の基礎・基本の習得につなげていきたい。
	学 習 指 導 教 育 指 課 程	わかりやすい授業を行っている	98	96	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	78	79	71	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	92	90	95	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	94			

健やかな体	保 健 ・ 衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	94	92	95	基本的な生活習慣の定着については、各家庭の状況に大きな差があるため、行政機関やSSWに協力を仰ぎ、訪問支援をしていただいている。また、本校の課題である「体力向上」については、体育部や児童会を中心に様々な取組を行ってきた。今後も体育館や中庭に「チャレンジスペース」を作って、運動に親しむ機会を意図的に増やしていく。
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	81	83	45	
		体力向上に努めている	90	79	82	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	92	88	95	
信頼される学校	安 全 管 理	児童生徒の安全に気を配っている	97	96	100	児童の安全については、地域との連携を図り、ネットワークパトロールや警察との情報交換などを積極的に実施している。また、学校運営協議会での意見を生かし、地域の方々にも積極的に学校運営に関わっていただいた。学校の実情や児童の頑張りを知ってもらうためにHPの更新を頻繁に行った。
	情 報 提 供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	95	96	100	
	P T A ・ 地 域 と の 連 携	学校はPTAや地域との連携がとれている	93	92	100	
	職 員 資 質 向 上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環 境 整 備	教育環境が充実し、整備されている	93	75	77	仮設校舎内での学習において、不便な点は教職員の創意工夫で充実したものに変えてきた。今後も児童の安全を第一に考え環境整備に努める。
	職 場 環 境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○学校評価全体として、約6割が昨年度の評価を上回っている。このことは、学校全体が教育目標である「かがやく えがお」を達成している証拠である。

○校内研究の日常化が徐々に定着してきた。「お話タイム」では、自分の考えをしっかりともち、対話を通して友達の考えに触れ学びを深めることができた。今後は単元を通した課題設定や振り返りの充実にも注力していく。

○生活指導においては大きなトラブルも無く、これまで本校が実践してきた取組が定着し、不登校傾向の児童が確実に減ってきている。しかし、あいさつの定着という点では2極化傾向にある。「本物」のあいさつを続けるためにも一人一人の心に響く指導を行っていきたい。

○今年度4回の学校運営協議会を開催した。委員の方と共に「学校が抱えている諸課題」や「地域が目指すべき方向」について熟議を重ねている。第3回の会議では、6年生児童も参画し、すべての人が自分ごととして捉え、小島地区をよりよい町にしていくために、小島地区の課題と取組について情報の発信と共有を行った。

○職員の業務改善のために、働き方改革について意識改革を重点目標に掲げてきた。服務規律委員会では、常に職員の働き方について検討し、ボトムアップで策を考えてきた。木曜日の日課を変更したことで、学級事務の時間が確保され、結果的に児童との良好な関係づくりに繋がっている。

6 学校関係者評価

○早寝・早起き・朝ごはんの生活リズムを習慣化することで、遅刻する児童が減ると思われる。まずは、生活習慣を改善することから始めることが必要である。

○基本的な生活習慣を身に付けさせるためには、学校・家庭・地域の連携が必要である。今後は学校運営協議会の柱の一つとして捉え、改善するための具体的な手立てを考えていきたい。

○仮設校舎での教育活動において、「体力向上」は大きな課題である。現在の取組を継続し、児童の体力向上に繋げていって欲しい。

○家庭学習の取組については、年間を通じて取り組んだ結果、ほとんどの学年で定着が見られる。家庭学習の時間を確保することや家庭と連携して習慣化を図ることが大切であるが、保護者に家庭学習の目的を再確認することも必要である。また、リモート学習の内容や質の向上についても、さらに情報提供していきたい。

○職員自身が「働きがい」を実感して職務に専念しているのが素晴らしい。学校目標である「かがやく えがお」を引き出すために職員が一枚岩になって様々な取組を行っている姿が伝わってくる。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○学校教育目標である『かがやく えがお～人とつながり一歩前へ「もっと地域と、もっと地域へ」』を具現化するため、教職員の指導力向上が最も重要である。校内研修における授業実践を中心に、カリキュラムマネジメントを行い、各関係機関と連携していく。

○校舎改築に伴う様々な課題については、「子どもたちのため」を念頭に置き、解決の努力をしていく。特に体力向上においては、本校の課題である。体育科の授業はもちろんのこと、体を動かす楽しさを実感させ、学校一丸となって取り組んでいく。

○本校の強みであるコミュニティスクール制度を生かした学校経営を推進していく。学校だけではできない体験や学びを地域や家庭と連携しながら進めていきたい。また、地域のためにできることを考え実践していき、子どもたち主体の取組を充実させたい。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

＜参考例＞ 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。